

受理第30-5号

請 願 書

件 名

(仮称) お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業についての
の請願

紹介議員

水谷 修、山崎 恭一、坂本 優子、渡辺 俊三、

山崎 匡、大河 直幸、片岡 英治

請願の趣旨

市が財政不足を理由に公共サービスの削減や打ち切りを進めようとしている中で太閤堤跡の歴史公園に巨額の税金を投入し整備事業を計画しようとしているのはおかしいと思います。

歴史公園を整備するための目的として市民の定住や自分たちのまちを知る教育的効果が期待できると言われていますがそうは思えません。これから益々進んで行く少子高齢化に向けて市民への負担が大きくなる可能性が大きいと考えます。

本来ならば今すぐ必要でない事業は見直すべきではないでしょうか。

運営内容の説明によると、このままの整備を進めて開園した場合にはミュージアムの収入から維持・管理・運営費を差し引きした金額を、毎年一億円以上を事業者を支払わなければならないと聞きました。

多くの市民はこのことを理解しているでしょうか。私の周囲の住民数名に確認したところ、太閤堤跡を歴史公園にする話は聞いたことがあるが、維持・管理・運営費を私たちの税金で支払って行かなければならないことは、ほとんどの人が理解していませんでした。

これは私の周囲にいる住民だけでしょうか？PFI 事業についても不透明な内容に納得がいきません。

宇治市においては早急に進めていかなければならない防災や福祉、交通整備など生活に直結した問題をまず対応して頂きたいです。このまま歴史公園事業計画を進めることは市民の定住を促すどころか、逆に市民負担が増し住みづらいまちづくりになると思います。

市民の生活を置き去りにした行政の取り組みには断固反対します。

市民の暮らしにまず目を向けてもらえないようなまちでこれからもずっと暮らして行きたいとは私は思うことができません。

未来の若者たちにこれ以上負担を強いるようなことは絶対にやめてください。

歴史公園の整備運営事業の見直しを何卒お願い申し上げます。

請願項目

- 1 宇治市議会として事業の見直しの為の市民の意見を聞く公聴会やアンケートを実施し意見の集約を行ってほしい。
- 2 観光交流センターの建設は取り止め、太閤堤跡の整備保存に特化した内容の歴史公園計画を進めてほしい。
- 3 このまま整備を進めて開園した場合にはミュージアムの収入から維持・管理・運営費を差し引きした金額を、毎年一億円以上を事業者を支払わなければならないことについて市民が理解できるようにわかりやすく市民に向けて説明をしてほしい。

平成30年9月14日

宇治市議会議長 坂下 弘親 様

請願者

中津畑 勝美